

市道藪市場通り線と上之町ポケットパークが廃止に 中心市街地土地区画整理事業で住宅に

中心市街地土地区画整理事業がすすめられている上之町の市道藪市場通り線（延長69.80㍓）と、上之町ポケットパークが土地区画整理事業の換地のため廃止されることが6月定例会で決まりました。

廃止後この場所には、住宅が建設される予定となっています。

中心市街地土地区画整理事業は、今年度の当初予算でも約3億4,900万円の予算が計上されましたが、事業完了の目途さえ立っていません。



防災対策、TPPと地域経済について、利根商業高等学校の改革基本構想について 大東議員の6月定例会市議会一般質問

6月定例会市議会の一般質問で大東議員は、はじめに大地震や土砂災害等の大規模災害における避難誘導、食料・水等の確保、避難所生活の確保や地震発生時における火災の対応など防災対策について質問しました。



つづいて TPP の市民生活や地域経済への影響と地域内循環経済の取り組みについてなど TPP と地域経済について質問し、最後に利根商業高等学校の改革基本構想と沼田市の財政負担について市長に質問しました。

市民体育館改修にむけ基本構想策定を業務委託

昭和57年（1982）に赤城国体の剣道会場として完成した市民体育館の改修にむけ、基本構想を策定するための予算が一般会計補正予算に盛り込まれました。

市民体育館の改修について、改修・新築、沼田公園にある武道場等を一体化したもの、拡張した場合の新築などについて検討し、基本設計をまとめていく予定です。



止まらぬ人口減少 5月末の人口49,992人に

5月末の沼田市の人口は、49,992人（住民基本台帳による）となり、50,000人を切りました。

旧白沢村と旧利根村との合併時は、55,000人の人口でしたが、毎年人口減少が続いています。

人口減少は、地方都市が直面する問題で、地方での仕事確保や子育て支援の充実が求められます。

2016年7月10日

NO. 487

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



自民党の「改憲草案」には、「国防軍」が明記され、基本的人権も「公益」のなで制約するなど明記されており、危険な改憲案をもとに改憲策動をすすめる安倍首相を見過すことはできません。

こんには。参議院選挙後の国会で憲法改定の発議を検討すると明言してきた安倍首相ですが、参議院選挙中は憲法を争点とすることを避けるため改憲については口をつぐんだままでしたが、自民党は「国防軍」などを明記した「改憲草案」を準備しています。「参議院選挙では改憲勢力で改憲の発議に必要な3分の2の議席をめざす」「任期中に改憲を実現する」などの発言を繰り返してきた安倍首相が、選挙で改憲について触れなかったからといって、改憲の策動をあきらめたわけではありません。

政権に復帰した安倍首相は、改憲の発議を緩和する憲法97条の持ち出し、安保法制を強行成立させてからはいよいよ9条を本丸に置いた改憲の動きを加速させています。

こんには 大東のぶゆき です

続ぶらい散歩 めまた道 薄根地区あれこれ 特別編その十四

賽の河原の童子

子どもの霊が賽の河原に集まり、「一重積んでは父の為、二重積んでは母の為・・・」と小石を積んでは、地獄の鬼が突き崩すと、そこに地蔵様が現れ、積み上げた石を崩され泣いている子どもたちを慰めるという「賽の河原地蔵和讃」を石仏として彫りあげた地蔵様が、長広寺境内の片隅にあります。地蔵和讃の地獄図のように地蔵様にすがろうとする



子どもたちが、彫られており利根沼田ではこの一体といわれています。

荘田太郎平憲景の墓碑

成孝院の参道に古びた宝篋印塔の一部があり、碑面には「応永十五年（1408）二月十三日 荘田太郎平憲景行逝去十八歳」とあります。

応永15年は、沼田氏が荘田城から小沢城へ移って3年目で、荘田太郎平憲景の人物像などは不明ですが、この墓碑は貴重な歴史的遺物とされています。

